

第2653回 例会
2016.9.1

週報 No.2028

発行 2016年 9月8日

会長 久保田 勲
幹事 樋口 雅之
副会長 藤村 作
副幹事 須田 悦正
編集責任者・
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト
国際ロータリー第2770地区
ガバナー
浅水 尚伸様
第5Gガバナー補佐
大貫 等様(かけ-エレクト)
地区副幹事
本田 守様(上尾西RC)
第5Gガバナー補佐幹事
岡村哲也様(上尾西RC)
米山記念奨学生
チョウドリ・イムル君

行事予定
9月15日 部門セミナー報告
ロータリー-財団部門
学友部門
9月22日 定款の規定により休会
9月29日 クラブフォーラム②
(時間変更)



新会員あいさつ

小林裕一郎会員

はじめまして。上尾で株式会社ニチネンという会社を営んでいる小林裕一郎と申します。皆様からあたたかいお言葉をいただきありがとうございます。入会に際しても熱心にお誘いいただき、人生でこんなに人から声をかけてもらう機会はないと思い、奮起して入会させていただくことになりました。素晴らしい先輩方に囲まれ、この伝統あるクラブで少しでも皆様のお役にたてるような活動をしていきたいと思っております。ご指導のほどお願いいたします。

会長あいさつ

2016-2017年度 久保田 勲会長

皆さんこんにちは。本年度8回目の例会に参加いただきありがとうございます。今日は、ガバナー公式訪問例会ということで浅水ガバナーと大貫ガバナー補佐、地区副幹事本田様においていただいております。この後、浅水ガバナーには卓話を頂きクラブ協議会ではご指導・ご意見を頂戴したいと思いますのでどうかよろしくお願ひ致します。そして米山記念奨学生のチョウドリ・イムル君ようこそ。新会員として小林裕一郎君を迎え上尾RC会員として、ロータリアンとして活躍を期待しております。

Rotary AGEO ROTARY CLUB

後半のセミナーも終わり今週は報告がございませんので今日9月1日、防災の日についてお話しさせていただきます。防災の日とは避難訓練などの災害時を想定した訓練を行う日として知られていますが『防災の日』として9月1日に選定されたのは1960年の事実は「関東大震災」です。1年に1度しかない『防災の日』。防災意識の再認識をする機会、「関東大震災」を忘れないために制定されたこの日。どのような震災だったのかを知り、来るべき大地震に備えておきたいということで私の会社が携わっている耐震工事について触れさせていただきます。

巨大地震は必ずくると言われております。今日は建築構造物の耐震についてお話しをします。この機会に家具の転倒防止や食器類の落下防止など、家の中の地震対策をチェックする人も多いのではないのでしょうか。今回は建物の震災対策の基本となる「耐震」「制震」「免震」にフォーカスしてみました。この3つの違い、皆さんは説明できますでしょうか。～地震から建物を守る代表的な3つの構造～

【耐震構造】耐震とは、頑丈な柱・梁(はり)・筋交いなどで建物をガッチリ固めて、揺れに耐える強度を得る方法です。阪神大震災でも一定の効果が認められたベーシックな構造ですが、地震のエネルギー(震動)が建物に直接伝わるため、建物自体の揺れや損傷、建物内の被害(家具の倒壊など)も大きくなりやすくなります。比較的、簡易・低コストで施工できるので、現在も多くのビルや戸建て住宅で採用されており、建築基準法が示す「最低限の基準」も耐震の考え方が基本となっております。

【制震構造】制震とは、構造体にダンパーなどの可動装置を設置し、揺れによる建物のダメージを抑える方法です。制振部材が揺れに追従して地震のエネルギーを吸収・消費するため、揺れの大幅な低減はありませんが、建物自体の変形・損傷は比較的少なくなります。

【免震構造】免震とは、建物の土台と地盤の間に積層ゴムなどの免震装置を設置して、地盤の揺れを建物に伝えにくくする方法です。建物が地盤の揺れに対して反作用で移動する(揺れに共振しない)ため、建物自体の揺れや変形・損傷、建物内の被害も大幅に低減します。

～東日本大震災をきっかけに導入が進む高層ビルの「制震・免震」～

骨組みの強さや粘り度で揺れを受け止める「耐震」。

構造体のブレイキ装置で揺れを吸収する「制震」。基礎の装置で地盤からの揺れ自体を軽減する「免震」。これら3つの構造がどれほどの効果を発揮するかは地震の規模や震源からの距離、建物の規模や地盤など、さまざまな要因がかかわってくるため一概には言えません。コスト面を含め、それぞれにメリット・デメリットがありますが、首都直下型地震など巨大地震への備えとして、近年注目されているのが高層ビルの「制震・免震」です。

2011年に起きた東日本大震災では、東京都心の高層ビルやタワーマンションの上層部がゆっくりと大きく揺れる「長期間振動」が観測され、その対策として制震・免震の技術導入が進められています。

1974年に竣工した耐震構造の「新宿三井ビルディング」(高さ210m)では、長周期震動への対策として今年5月、屋上に巨大な振り子式の制震装置を設置。重さ1800tの振り子の錘(おもり)が、揺れの方向と逆に振れることで、長周期震動の揺れ幅と揺れ時間を大幅に軽減できるという仕組みです。

さらに制震と免震を組み合わせたハイブリッド構造のタワーマンション建設や、センサーが即時に地震を感じ、コンピューター制御で揺れと反対方向に建物を動かす「アクティブ免震システム」の研究・開発も進んでいるそうです。

いつ・どこで起こるか分からない巨大地震。その被害やリスクを可能な限り軽減し、私たちの暮らしを見守ってくれる建築技術の進化に、今後も大きな期待を寄せるとともに、皆さんの会社でも備えてはいるでしょうか。

今日は長時間になりますがよろしくお願ひ致します。

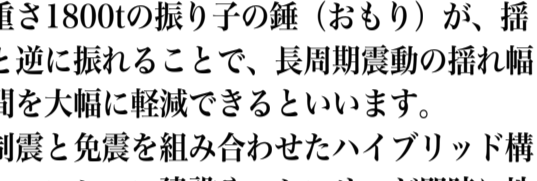
幹事報告

樋口 雅之幹事

◆上尾商工会議所が毎月発行し全戸配布している情報誌『あびお』、「ロータリーの窓」に今月は当クラブが掲載されています。内容は、久保田会長と私が7月に島村市長に表敬訪問した際の模様です。ご一読いただけると幸いです。

◆今月のロータリーレートは1ドル=102円です。

◆11月12-13日、本年度の地区大会が開催されます。13日は全会員参加対象ですので今のうちから予定の



調整をお願いいたします。

◆全国インターアクト研究会が10月21・22日に名古屋で開催されます。こちらは関連する方にお声掛けさせていただきます。

◆米山記念奨学生の奉仕活動が、9月19日に春日部の特別養護老人ホームで行われ、チョウドリ君は出席義務がありますが、そのほかロータリアンの方で参加したい方はどなたでもお申し込みできますので幹事まで声をかけていただきたいと思います。

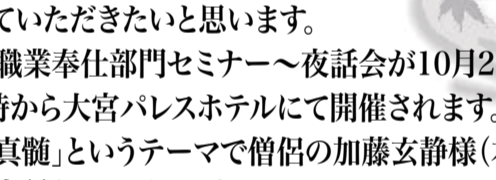
◆地区職業奉仕部門セミナー～夜話会が10月21日、夕方5時から大宮パレスホテルにて開催されます。「職業奉仕の真髄」というテーマで僧侶の加藤玄静様(本庄RC)の卓話をいただきます。

◆10月24日は、2016世界ポリオデーです。

◆RYLA研修が来年4月、鹿児島島の知覧で行われます。以上、よろしくお願ひいたします。

ロータリー米山記念奨学金授与

米山記念奨学生 チョウドリ・イムル君



来日してから5年目、昨日、新幹線に初めて乗りました。就職活動の最終選考で、名古屋まで行って来たのですが、東京駅から366kmの距離を100分で到着でき感激しました。私の国バングラデシュのダッカからチッタゴンまでは250kmなのですが、5時間くらいかかります。国の経済発展には、交通機関の設備が重要だと実感しました。ありがとうございます。

米山記念奨学会功労者表彰

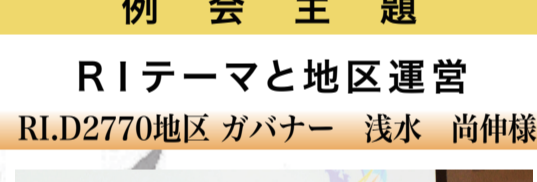
富永会員、大塚崇行会員、島村会員、久保田会員、藤村会員、樋口会員



例会主題

R.I.テーマと地区運営

RI.D2770地区 ガバナー 浅水 尚伸様



ジョン・ジャームRI会長は伝統を重んじ、ロータリーの精神を重視している方です。ガバナーエレクトの時代にアメリカ・サンディエゴに世界中のガバナーエレクトが集まり、1週間缶詰になってガバナーになるための勉強をしました。2日目の朝、ジョン・ジャームさんは演台に立って「皆さん、人間にとっての幸福はどんなことでしょうか?私は人間にとっての幸福は、人を幸せにすること、人を助けること、人に影響を与えることだと確信しています。そうだとすると皆さんがロータリアンになった日、その日が人生最大のいちばんいい日だったと思いたすよ。ロータリーには世界中に仲間がいて、その仲間たちがいろいろな奉仕活動で人を助けています。我々はロータリアンであるというだけで、その思いを共感できています。ロータリーには人を助けるノウハウがあり、人材があり、お金があります。こんな組織は他にはありません。私にとっていちばん最良な日は、RI会長になる日ではなく、ロータリークラブに入会した日でした」とスピーチしました。そして彼は世界中で行われている奉仕活動を紹介します。「私たちの仲間がやっていたことに、皆さん、プライドをもちましょう。話をしました。最後にシンプルに『人類に奉仕するロータリー』を次年度のテーマにします」と掲げました。

私がこのように公式訪問しているのは、「各クラブの皆さんにクラブを活性化してもらおう、元気になってもらおう」という目的があります。私は皆さんのクラブが楽しいクラブになってもらうための、きっかけづくりで訪ねてきた次第です。活性化の手段とは、地域の特性、歴史や伝統など特徴にあわせて皆さんで考えていただくしかありません。しかしなんらかのヒントは私の方で提供できたらいいなあと思っています。今年は財団100周年ですので、例えば継続事業の冠に「100周年」とつけていただくなど、クラブの活性化のアイテムとして使っていた

きたいと思っております。

今年度地区では学友部門を新設しました。これはロータリーと学友との関係を再構築しようというものです。ロータリアンと学友との関係のほかに、学友同士の結びつきもテーマになるなあと思っています。

皆様のクラブにおきましては、会員増強だけでなくぜひ楽しいクラブに向かって、全員協力してムードを盛り上げていっていただきたいと思います。ありがとうございます。



この後、クラブ協議会と、浅水ガバナーを囲んでの懇談会が開催されました。記録は次週以降、週報のスペースに余裕がありましたら掲載させていただきます。

浅水がバナー様 公式訪問いただきありがとうございました。

久保田会長、樋口幹事、会員の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました!

スマイル

大貫等ガバナー補佐/本田地区副幹事/岡村哲也ガバナー補佐幹事/久保田会長/藤村副会長/樋口幹事/須田副幹事/武重会員/大塚信郎会員/吉川会員/小林会員/富永会員/齋藤重美会員/井上会員/村岡会員/萩原会員/尾花会員/渡邊会員/大木会員/細野会員/名取会員/大塚崇行会員/島村会員/齋藤重美会員/深澤会員/関口会員/野瀬会員/宇多村会員/長沼会員/齋藤弘会員/門崎会員/坂本会員/春日会員/芳賀会員

出席 会員数 38 出席数 33
欠席 欠席数 5 (%) 86.84

前々回確定 欠席数 2
修正(%) 94.59 (M・U) 7

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 東武バネットホール4F(ポリアス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

